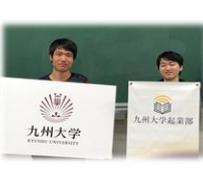
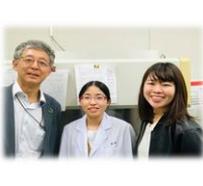


■ 第19回 九州・大学発ベンチャー・ビジネスプランコンテスト ファイナリスト

2019.12.2

実行委員会 事務局

〔敬称略・発表順（代表者名 逆50音順）〕

	写 真	学校名	学部・学科	代表者名	学年	事業名	プランの概要
1		大分大学	理工学部 創生工学科	和田 貴汰		WADAIKU	弊社は「一生飽きることのない空間をあなたへ」をキャッチフレーズとし、時と場合、用途に合わせて空間デザインを変えていくことを可能にする『スマカベ (SMART CARPENTER)』という商品を提供していく。 対象者は20代から60代の住宅購入者、住宅関連用品の購入者である。この新たな空間デザイン形成を世界中に広め、「一家に1スマカベ」というスタイルを作っていく。
2		北九州高専	生産デザイン工学 専攻	山本 悠加	2年	ヘルスケアロボットと 健康手帳による 次世代健康管理モデル	①子供から大人まで幅広い世代を対象に、楽しみながら健康状態をチェックし健康管理を行うための指標をヘルスケアロボットと関連アプリケーション・システムによって提供するビジネスである。 ②使い心地を考慮しながらロボット本体とそのシステムを開発する。 ③主たる収益は消費誘導による広告収入と利用者のシステム使用料の一部によって得る。
3		佐賀大学	理工学部 機械システム 工学科	山城 佑太	4年	座圧軽減装具： フワットの開発と販売	座った状態で腰の辛さを感じる人に対して、独自製品である“フワット”を販売するビジネスである。 腰を浮かせる座圧軽減装具：“フワット”は、ユーザの上半身の重量を座面に伝えることで、骨盤にかかる重量を軽減する。装着したユーザが着座すると骨盤への荷重が半分以上に軽減される。 弊社は、3件の特許技術に基づくフワットを独占的に販売する。
4		大分大学	経済学部 経営システム学科	松岡 真輝	4年	臭いを可視化して必要な情報を 提供するワキガ総合管理アプリ 『臭いの財産・嗅-Bot』	腋臭症（ワキガ）で悩む方々向けに、協力企業が販売する専用のデバイスで臭いを感じ、Bluetooth機能でスマホアプリに送信。アプリでは数値化・対処法の提示、医師の解析診断サービスを行う。 私が医学者と協力企業を取りまとめ、研究会を設置。臭いに特化したアプリ開発会社を起業する。 アプリの課金、診断サービスの手数料を収益とする。
5		北九州高専	専攻科 生産デザイン工学 専攻	波野 奎友		AR技術を活用した 技術継承支援システム	多くの企業ではマニュアルの電子媒体化等の手法を取ることで技術の見えるかを進めているが技術継承にかかる時間やコストの削減という問題が残されている。本事業要継承技術における暗黙知等を集積することで技能の損失を防ぎ、トレーニングサービスとして被継承者に提供することで円滑な技術継承を図り、企業内利益の向上に貢献する。
6		九州大学	工学部 エネルギー科学科	徳丸 貴哉	3年	電池の性能評価 シミュレーションソフトの 開発・販売	私たちは実電極構造の電池の性能評価をするソフトウェアを開発し、電池の開発を行っている企業に対して販売する。 本ソフトウェアは作製プロセスの最適化や電池材料の開発に寄与し、開発中の電池の性能向上や効率の良い開発方針を立てることを、シミュレーション上で早く行うことが出来るようになる。
7		宮崎大学	地域資源創成学部 地域資源創成学科	河野 龍摩	3年	CONNECT	CONNECTは、LGBT当事者に自分のセクシャリティを偽ることなく自分らしくサービスを受けられるようにサポートすると同時に、企業のLGBT市場開拓を支援するサービスです。LGBT当事者と企業の間に入ることによって、当事者に安心感を与えることができ充実したサービスが受けられるようになります。 また、企業のメリットとしてLGBT顧客の企業選択指針になることがあげられます。
8		崇城大学大学院	工学研究科 応用生物科学専攻 修士前期課程	岩井 蘭子		P&A ～光合成細菌由来の藻類活力剤～	微細藻類（クロレフ、ユークレナなど）を屋外開放系で大量培養することには、さまざまな困難が伴います。特に問題となるのは、高温や低温でストレスがかかった時、増殖低下や動物プランクトンによる捕食被害が発生することです。P&Aは微細藻類活性化剤「Algae Power（アルジパワー）」で、藻類を活性化し増殖を促進し生産性を高めます。顧客は、健康食品、水産養殖藻類生産者で、藻類の生産性と安定性が向上するため購入します。従来技術に比べ、低コストかつ極めて少量で藻類を活性化します。
9		宮崎大学	農学部 畜産草地科学科	有方草太郎	4年	Pioneer Pork	現在日本の9割の養豚農家が、効率優先で豚がほとんど身動きできない養豚を行っている。 そこで私は、アニマルウェルフェアという豚のことを考え、安心の育て方をした美味し豚肉を、健康志向の方に販売する。放牧養豚は豚と人が、うまく共存している育て方であり、それを切り口に農業の新しいモデルを作り出し農業界に革命を起こす